

学生、保証人 各位

2023 年度の授業方針について

学長 吉田 宗平

謹啓

4月からの新年度を迎え、この3年間の新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの感染拡大は収束の兆しをみせており、社会的にも新たなポストコロナへむけて動き始めました。改めて振り返ってみますと、大学教育においても非常に大きな変化がありました。今後は、本学においても学生の皆さんの安全を最優先しながら、医療専門技術や実技を身につけるための実習・演習科目については、新たな視点を以て積極的に対面授業を進めたいと思います。また一方では、ICT技術を活用した遠隔授業（オンライン授業、オンデマンド授業）を、その利点を生かして「教育の質保証」を落とさないよう継続的に発展させていきます。コロナ禍は、学生の皆さんにとっても、また私共大学の教職員にとりましても、厳しい教育環境と条件を余儀なくされ、暗中模索する日々がつづき、不備な点も多々ありました。それにも係わらず、今日まで学生の皆さんならびに保証人の皆様から頂戴したご理解とご協力に対しまして、改めて御礼申し上げます。

今後もコロナ感染拡大は予断を許さない状況にあり、本学の建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を持った医療人を育成することは、この「感染症の世紀」と言われる現代において、私共教職員の喫緊の重要課題といえます。そのためには、第一に大学キャンパスでの対面授業や課外活動などを積極的に回復し、「奉仕の精神」のもと、人と人との「絆」を取り戻せる教育の新たな発展を図りたいと考えています。第二には、来る2023年度の教育においては、今年度以上に教育のDX化（デジタルトランスフォーメーション）が求められてくると言えます。その意味で、これまでのアナログデータのデジタル化を更に促進し、持続可能で既存の価値観に捉われない多様な教育システムを創生し、また、それを支える大学の文化と風土を構築していきたいと考えています。

そのため、本学教職員は協働して、引き続き学生の皆さんの安全と本学の教育内容の充実・発展が図れるよう尽力する所存です。今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、もし万一、新型コロナウイルス感染症が再度感染拡大するなど対面授業の継続が困難な状況となった場合は、速やかに遠隔授業に切り替えて学生の皆さんの安全を確保したいと思えます。そのような場合には、方針の変更についてすみやかに連絡させて頂き対処させて頂きます。

ポストコロナを目指す変化の大きい社会環境の中、どうぞ皆さまには、ご家族共々ご健康にはご自愛下さいますよう祈念申し上げます。

謹白